



見守り防犯カメラ

通学路の安全確保を徹底してほしい

立憲民主とだ
こがねざわ まさし
小金澤 優 議員

Q 見守り防犯カメラの新規設置は

A 必要性について随時検討する

議員 「新しいマンションの周辺に見守り防犯カメラを設置してほしい」と相談されているが、設置可能か。

市民生活部長 子供の増加も見込まれるため、周辺の設置状況や犯罪情勢などを勘案するとともに、設置場所見直しなどの必要性について随時検討する。

議員 マンション建設時は、事前に検討してほしい。見守り防犯カメラが設置されていない場合は見守りサービスもないということか。

市民生活部長 見守りサービスは、各見守り防犯カメラに受信機が組み込まれているものである。カメラの設置場所は、見守りサービスも考慮して決定しているため、見直しなどについても、カメラと一体的に検討する。

議員 見守りサービスの不具合で信号が途絶えたことがあるが、機器のエラーはどのように復旧するのか。

市民生活部長 利用者から検知エラーを市に連絡いただき、職員が庁舎の管理システムを用いて再起動し、その後、業者が現地で動作確認を実施する。検知エラーの対応方法は業者と調整を重ね改善を図っていく。

その他の質問

Q 精神障害者手帳2級の自己負担額は。

A 精神通院以外は医療保険により原則3割負担。



位置情報が分かることで安心できる
(実際の見守りサービスの画面)

「その後」を追跡! あの提言はどうなった?

市議会では、本会議での一般質問や委員会が提出する提言書、市民からの請願など、さまざまな方法で市に要望を伝えています。ここでは、議会からの要望の「その後」を追跡します。

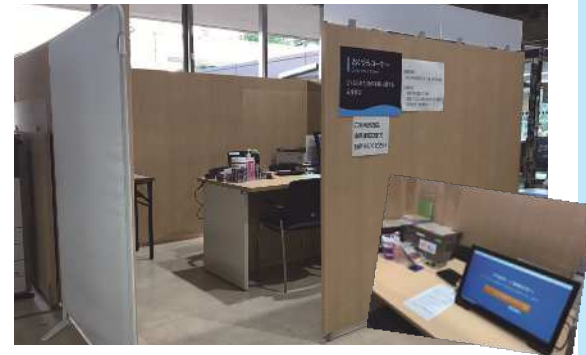
平成31年1月 総務委員会が提出
「市役所業務における
ICT化に関する提言書」

「ICTを利用した窓口改革を！」

市民の利便性向上に向け、あらゆる窓口改革を検証・推進することを提言

あれから4年...

『書かない窓口』を導入した 『おくやみコーナー』を設置!!



遺族の負担軽減を目的に、死亡に伴う必要な手続きの案内や、『書かない窓口』を利用した申請書の作成支援などをワンストップで行える『おくやみコーナー』が、令和4年12月に、市役所本庁舎に設置されました。

その他にも、キャッシュレス決済への対応や、市民課窓口の混雑状況のインターネット上での情報提供の開始、公式 LINE から利用できる、スマートフォンで手続きが完了する『スマート申請』や各種通報機能の導入など、ICTを利用したさまざまな窓口改革が進められています。



スマートフォンからもいろいろな手続きや
窓口の混雑状況の確認ができます

戸田市 LINE
公式アカウント
の登録は
こちらから



委員会視察レポート

本市議会では、委員会ごとに「年間活動テーマ」を決めて、調査・研究を行っています。今定例会の初日には、閉会中に各委員会が実施した先進地への視察について、各委員長から報告がありました。ここではその概要をお伝えします。



文教・建設常任委員会

自ら考え行動できる人を育成／自転車のまちをPR

学校法人堀井学園
〈横浜創英中学・高等学校〉

同校では「自ら考え行動できる人の育成」を教育目標に掲げ、全員担任制や生徒がつくる修学旅行など、生徒一人ひとりが当事者となり自己決定し、自律を促す教育が実践されていました。視察では、総合的な学習の時間の様子も視察しました。



9月30日
横浜創英中学・高等学校にて

〈千葉県千葉市〉

千葉市では「はじめよう、ちばチャリストイル!」と銘打って、自転車ルールブックの作成や学生・警察と連携した街頭啓発など、市民の意識向上につながる自転車のまちづくりが行われていました。



10月31日
千葉市役所にて

健康福祉常任委員会

地域総ぐるみでこどもの居場所づくりを推進

〈神奈川県小田原市〉

小田原市では、こどもの居場所づくりを進めるにあたり、「スクールコミュニティ」という考え方を掲げています。これは、地域総ぐるみで子供を見守り育てようという考え方で、この理念の下、自治会などが居場所づくりを行っている他、自治会や子供会、PTAなどの情報発信を市が支援する取り組みを実施しています。また、市長のリーダーシップにより庁内で部局を超えた連携が図られるなど、居場所づくり推進の土壌づくりがなされていました。



10月7日
小田原市役所にて

市民生活常任委員会

脱炭素社会に向け、まち全体で連携・協働した取り組み

〈神奈川県葉山町〉

葉山町では、令和元年9月にSDGsの目標達成のために、町民や事業者と連携・協働して推進する環境に配慮した町独自の行動項目として、「はやまクリーンプログラム」をスタートし、「町内で暮らすすべての方が地球の未来のために本気で行動しているまち」ということを世界に向けて発信していくことを目指しているとのことでした。また、町民が開発した「キエーロ」という生ごみ処理器についても視察しました。



11月8日
葉山町役場にて
キエーロを見学